



JASDAQ

平成21年3月13日

各 位

会 社 名 株式会社セブテーニ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野村 宗 芳
(JASDAQ コード番号 4293)
問合せ先 取締役 清水 一 身
(TEL. 03 - 5363 - 7340)

当社子会社（アクセルマーク株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるアクセルマーク株式会社は、平成20年11月6日に発表した平成21年9月期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）の業績予想につきまして、別紙のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社も本日付で平成21年9月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日付開示資料「平成21年9月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上



平成 21 年 3 月 13 日

各 位

東京都新宿区西新宿六丁目 24 番 1 号
会 社 名 アクセルマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 靖弘
(コード番号：3624 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営戦略本部長
峯岸 幸久
(連絡先 03-5324-2440)

平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計及び通期業績予想の修正ならびに
平成 21 年 9 月期連結通期業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 6 日に発表いたしました平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計及び通期業績予想を修正することを、本日開催の取締役会にて決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 21 年 2 月 24 日付「会社分割によるメディアプランニング事業の分社化に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、新設分割の方法によって 100%子会社である株式会社メディアグロウを設立し、平成 21 年 9 月期第 3 四半期より連結財務諸表を作成することになりましたので、連結業績予想についてもお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計業績予想の修正 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,900	百万円 60	百万円 49	百万円 26	円 銭 900.37
今回修正予想 (B)	1,830	△58	△66	△69	△2,389.44
増減額 (B-A)	△70	△118	△115	△95	—
増減率 (%)	△3.7	—	—	—	—

(2) 平成 21 年 9 月期通期業績予想の修正 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,000	百万円 130	百万円 111	百万円 58	円 銭 2,008.52
今回修正予想 (B)	2,700	△112	△126	△160	△5,540.74
増減額 (B-A)	△1,300	△242	△237	△218	—
増減率 (%)	△32.5	—	—	—	—

2. 業績予想の修正が生じた理由

(1) 第 1 四半期における経営成績

モバイルコンテンツ市場を取り巻く環境は、第 3 世代携帯電話の普及率は増加し、端末の高機能化が進んでいるものの、端末利用期間の長期化などにより、新規契約や機種変更などによる新規端末購入者数は伸び悩んでおります。また、モバイルコンテンツに対するユーザーのニーズが多様化していることや、無料コンテンツを楽しむユーザーが引き続き多く存在することがあげられます。

このような環境の下、コンテンツ・メディア事業において、「ランディングページの施策」や「リスティング広告」など ROI を重視したプロモーション方法により、会員獲得は順調に増加するものと想定しておりました。また、当社が注力するケータイ動画市場が順調に立ち上がるものと想定し、差別化できるコンテンツ獲得のための先行投資を行ってまいりました。

しかしながら、第 1 四半期において、「ランディングページの施策」において提携している一部のサイトにおいて獲得したユーザーが、当社サイトへ入会しているものの利用料金を支払わず回収不能となる事態が発生しました。また、今後の未回収が想定される金額に対して貸倒引当金を計上したため販売管理費が想定以上に増加しております。また、ケータイ動画市場の順調な立ち上がりを見据えた先行投資を行いましたが、現時点では当社が想定した通りの市場拡大はしておらず、収益計画に大幅な乖離が生じております。

以上の結果、当第 1 四半期は、売上高 813 百万円、営業損失 43 百万円、経常損失 48 百万円、四半期純損失 29 百万円という結果になりました。

(2) 第 2 四半期累計業績予想修正の理由

当第 1 四半期の結果を踏まえて、コンテンツ・メディア事業に関しては、会員獲得方法の見直しを行うため、期初に予定していた広告出稿を大幅に抑制いたしました。その結果、広告宣伝を抑制した部分の販売管理費は削減できたものの広告出稿により増加を見込んでいた会員数は獲得できず、売上高及び売上総利益は期初計画値を大幅に未達成となる見込みであります。ケータイ動画に関しては、コンテンツの充実及びプロモーションの積極化などの施策を行うことで売上高の拡大を目指しました。しかしながら、現時点においてはケータイ動画市場が緩やかにしか成長しておらず想定した通りの売上高を確保できていないため、先行投資を回収するには至っておりません。また、各ジャンルのサイトにおいて、オリジナルコンテンツを充実させることによる既存会員の退会防止策、新規サイトの立ち上げによる新たなユーザー層の確保などの施策を行っております。

広告事業に関しては、株式会社ディーツーコミュニケーションズとの取り組みを開始し取り扱いメディアの充実を図ることで売上高及び利益の増加を目指しております。

その他事業に関しては、モバイルサイトの開発、運営受託及び公式メニュー化支援サービスなどの受注活動は順調に推移しており、期初計画値を達成できる見込みであります。

以上の結果、売上高に関してはコンテンツ・メディア事業の落ち込みを広告事業でカバーする結果となり、前回発表予想に対して3.7%減にとどまる見込みであります。しかしながら、利益率の高いコンテンツ・メディア事業の売上高が期初計画値を下回る見込みであり、広告事業の売上増加にともなう利益の積み増しでは、コンテンツ・メディア事業の落ち込み部分を補うことが出来ないため、営業利益は△58百万円（前回発表予想比△118百万円減）、経常利益は△66百万円（同△115百万円減）、当期純利益は△69百万円（同△95百万円減）になる見込みであります。

（3）通期業績予想修正の理由

コンテンツ・メディア事業におきましては、第2四半期と同様に、オリジナルコンテンツを充実させることによる既存会員の退会防止策、新規サイトの立ち上げによる新たなユーザー層の確保などの施策を継続します。また、ケータイ動画に関しては引き続き緩やかな成長を見込んでいるため、先行投資の回収までには至らないと予想しております。

販売管理費においては、各項目の見直しを行い費用の削減に努めて効率的な経営管理体制を目指しております。諸経費削減の一環として、本社移転を予定しております。本社移転に際し、固定資産の除却や原状回復のための費用を特別損失として計上する予定ではありますが、更なる業務の効率化と経費削減を図るべく実行してまいります。

なお、売上高に関しましては、平成21年4月1日付でメディアプランニング事業を分社化する予定であるため、当該売上高が減少する見込みであります。

以上の結果、今回修正予想は、売上高2,700百万円（前回発表予想比△32.5%減）、営業利益は△112百万円（同△242百万円減）、経常利益は△126百万円（同△237百万円減）、当期利益は△160百万円（同△218百万円減）となる見込みであります。

3. 連結業績予想

平成21年2月24日付「会社分割によるメディアプランニング事業の分社化に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、新設分割の方法によって100%子会社である株式会社メディアグロウを設立し、平成21年9月期第3四半期より連結財務諸表を作成することになりましたので、連結業績予想についてもお知らせいたします。

平成21年9月期連結通期業績予想（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 3,700	百万円 △112	百万円 △126	百万円 △160	円 銭 △5,540.74

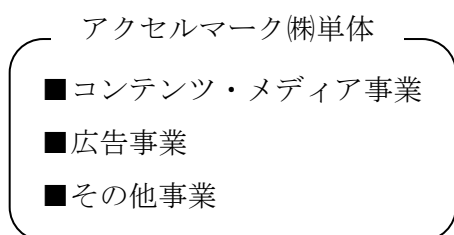
以上

■本件に関するお問合せ先
 アクセルマーク株式会社
 経営管理部 IR担当
 【TEL】03-5324-2445 / 【email】ir@axelmark.co.jp

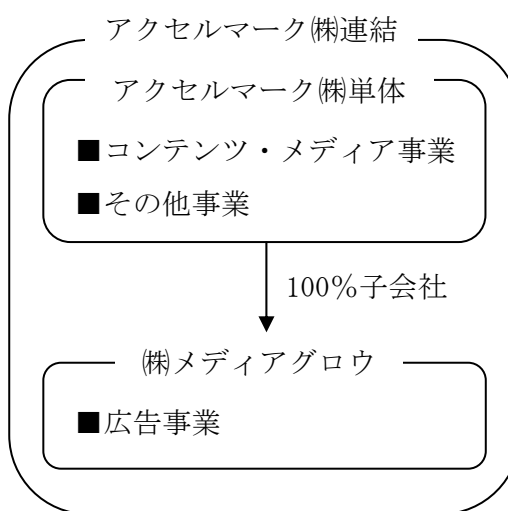
【参考情報】

会社分割にともない平成21年4月1日付にて(株)メディアグロウを設立する予定となっており、平成21年9月期第3四半期より連結財務諸表作成開始いたします。

<現在>



<平成21年9月期第3四半期以降>



<従来予想> 単位(百万円)

アクセルマーク(株)単体	
売上高	4,000
営業利益	130
経常利益	111
当期利益	58

<今回予想(平成21年3月13日付)> 単位(百万円)

アクセルマーク(株)連結		アクセルマーク(株)単体	
売上高	3,700	売上高	2,700
営業利益	△112	営業利益	△112
経常利益	△126	経常利益	△126
当期利益	△160	当期利益	△160

今期より連結業績予想の開示を行いますが、(株)メディアグロウの収益予想を勘案したところ、現時点におきましては、連結業績予想と個別業績予想の営業利益、経常利益、当期利益は変わらない予想となっております。